

知性、理性、感性、靈性を貫く

人類の根源性回復の試み

内村鑑三

鈴木大拙

堺利彦

高田博厚

東西の架橋

調布市

武者小路実篤記念館

春の特別展

柳宗悦

2026. 4/25(土) → 6/7(日)

◎開館時間：午前九時～午後五時 ◎入場料：大人2,000円、小・中学生2,000円
◎休館日：月曜日。ただし五月四日「月」、五日「火」、六日「水」は開館、五月七日「木」は休館
◎「八二〇〇三」東京都調布市若葉町一八一三〇 ◎主催：一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
*館中展示室がかりまき(開館は五月七日まで、後期は五月九日まで)

有島武郎

釈迦

小林秀雄

ホール・ゴーギャン

よみがえる武者小路実篤

岸田劉生

美 愛 眞 の 世 界

片山敏彦

志賀直哉

若松英輔コレクションを中心に

西田幾多郎

芸術と哲学

長與善郎

エドヴァルト・ムンク

人格の磁力

芸術と哲学

長與善郎

宗教の彼方の宗教性

椿貞雄

眞実を語る

孤独と協同

反復の人

大杉栄

ウィリアム・ブレイク

河野通勢

時代の牽引者

分離派建築会

今 実 篤 提 直

太陽的引力

孔子

法然

余白の人

磁場を生む人

空海

調布市
武者小路実篤記念館移動展
実篤没後五〇年

二宮尊徳

若松英輔コレクションに見る

有島生馬

美の宇宙

キリスト

書の哲学性

ミケランジェロ

里見淳

ポール・セザンヌ

中川一政

武者小路実篤

美 と ことば の 宇宙

色彩の詩人

谷崎潤一郎

意味の光景が浮かび上がる

書家の書との差異

調布市

文化会館 たづくり 1階 展示室

夏目漱石

2026. 5/28(木) → 7/5(日)

◎開場時間：午前十時～午後六時(五月二九日(金)のみ午後七時まで延長)

◎入場料：無料

◎休館日：六月二日「月」、三日「火」

◎「八二〇〇三」東京都調布市小島町二二三二一

高村光太郎

梅原龍三郎

ことばの宇宙

ピエール・オーギュスト・ルノワール

主催

公益財団法人

振興財団

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

後援 調布市教育委員会

J:COM 調布FM83.8MHz

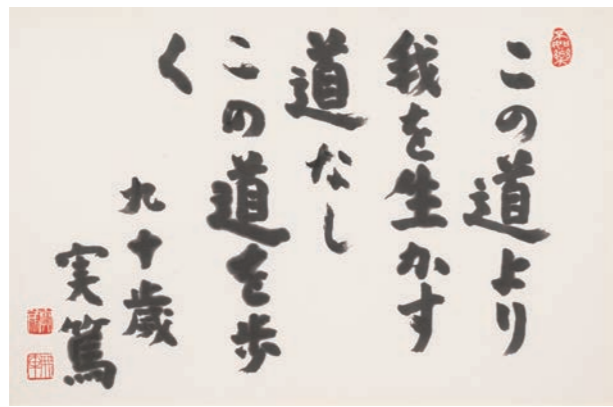
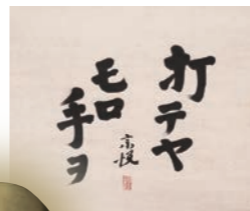
幸田露伴

よみがえる武者小路実篤・美愛眞の世界

若松英輔コレクションを中心に

調布市武者小路実篤記念館

2026. 4/25(土) → 6/7(日)



武

武者小路実篤(一八八五—一九七六)は、明治四三(一九一〇)年四月に志賀直哉、有島武郎らと共に雑誌『白樺』を創刊して世に出て、九〇年の生涯で多くの作品と業績を残しました。

小説、戯曲、人生論、また雑感や詩など七〇〇篇もの文学作品だけでなく、四〇歳前に書画の制作にも本格的に取り組み、その作品は昭和三〇—五〇年代には誰もが目にしたことがあるほど広く親しまれました。また、西洋近代美術の紹介においても先駆的かつ創造的な役割を担いました。人間の「自我」を肯定し個性を尊重する姿勢で近代日本の思潮をリードし、人間が人間らしく生きられる社会の実現を志して「新しき村」を創設したことはよく知られています。

その実篤は七〇歳の時に調布・仙川の地に移り住み、晩年の二〇年間を過ごし、昭和五一(一九七六)年四月九日に九〇歳で死去しました。

今年、実篤没後五〇年にあたるのを機に、武者小路実篤記念館と文化会館たづくり展示室の二会場で、気鋭の批評家であり随筆家の若松英輔氏の評価を軸に、二つの展覧会を開催します。

実篤記念館では、春の特別展「よみがえる武者小路実篤・美愛眞の世界」若松英輔コレクションを中心に「」を開催します。若松氏は、実篤は文学史ではなく精神史の中で捉えるべき存在と語ります。若松氏の目に映る実篤は、深い哲学性・宗教性を有し、真実を語ることで、多くの人を魅きつけ結びつける時代の牽引者であり、見逃されているこうした実篤の本質は、現代にこそ重きを持つと評します。若松氏が所蔵する実篤と周辺の人々の作品・資料を中心に展覧会を構成し、考察し、実篤という人物を捉え直すことを試みます。

文化会館たづくり展示室では、移動展「若松英輔コレクション」に見る 武者小路実篤・美とことばの宇宙」と題し、若松氏の琴線にふれた実篤の書画を展覧します。若松氏は、実篤の書画に惹かれ、収集してきました。実篤の絵は言葉で書けない詩であり、絵だけの作品にも詩情があふれていると言います。また実篤の書の豊かな哲学性はこれまで見逃されてきたが、その価値を復権したい、と語ります。絵は詩を味わうように余韻、余白とともに味わい、書は意味の光景が浮かび上がるまでじっくりと見る、そんなひと時を過ごしていただければ幸いです。

文化会館たづくり展示室では、移動展「若松英輔コレクション」に見る 武者小路実篤・美とことばの宇宙」と題し、若松氏の琴線にふれた実篤の書画を展覧します。若松氏は、実篤の書画に惹かれ、収集してきました。実篤の絵は言葉で書けない詩であり、絵だけの作品にも詩情があふれていると言います。また実篤の書の豊かな哲学性はこれまで見逃されてきたが、その価値を復権したい、と語ります。絵は詩を味わうように余韻、余白とともに味わい、書は意味の光景が浮かび上がるまでじっくりと見る、そんなひと時を過ごしていただければ幸いです。

調布市文化会館たづくり1階 展示室
6. 君子蘭「天に星」 武者小路実篤 紙本墨書墨画淡彩
7. 野菜「静坐観野妙」 武者小路実篤 紙本墨書墨画淡彩
8. 「山菜と蓮根」 武者小路実篤 紙本墨書墨画淡彩
9. 「この道」 武者小路実篤 1975年 紙本墨書
*いずれも若松英輔氏蔵

調布市武者小路実篤記念館
1. 百合「心愛に満つる時」 武者小路実篤 1968年 紙本墨書墨画淡彩
2. 「不恥福音」 内村鑑三 紙本墨書
3. 桃図 種良徳 1963年 キャンバス・油彩
4. 奥図 河野逸勢 紙本墨画淡彩
5. 「打テヤモロ手ヲ」 柳宗悦 紙本墨書
*いずれも若松英輔氏蔵

若松英輔
WAKAMATSU
Eisuke

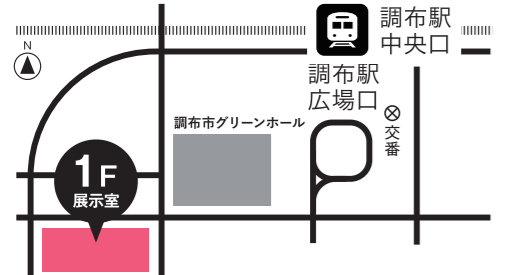


1968年、新潟県出身。2007年第14回三田文学新人賞評論部門受賞。文学者・思想家の評伝や批評のほか、心に寄り添い言葉と向き合う随筆や詩を執筆。また「読むと書く」講座を主宰。著書に『小林秀雄 美しい花』(文藝春秋)、『靈性の哲学』(KADOKAWA)、近著に『あなたが言わなかったこと』(亜紀書房)、『柳宗悦 美を生きた宗教哲学者』(NHK出版)、また柳宗悦『美の救い 柳宗悦傑作選集』(KADOKAWA)を編集。日本経済新聞で2023年に1年間連載した「言葉のちから」第3回は「嘘のない場所～武者小路実篤「沈黙の世界」」。

Comprehending SANEATSU Again

調布市文化会館たづくり1階 展示室
アクセス・お問合せ

(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団
〒182-0026 東京都調布市小島町2-33-1
Tel 042-441-6150
Web https://www.chofu-culture-community.org
京王線調布駅下車 中央口出口から徒歩4分



関連行事

5.9(土)、5.16(土) 若松英輔氏によるギャラリートーク
[会場] 武者小路実篤記念館
企画から参画いただき、若松氏のコレクションを中心に構成した特別展を、ご本人のお話を聞きながら味わい、感じていただけます。
[時間] 午後5時5分～*45分間程度 [講師] 若松英輔氏(批評家・随筆家) [定員] 各日25名
[参加費] 入場料のみ [申込み] ①4月25日[土]午後5時まで、②5月2日[土]午後5時まで*別記方法で

5.29(金) 講演会「人類の意志を信じた人 武者小路実篤」
[会場] 調布市文化会館たづくり8階 映像シアター / 保育サービスあり
今回の講演会では武者小路実篤が説く「人類の意志」をめぐる考えを深めてみたいと思います。実篤は敬虔な精神を宿した人でしたが、簡単には「神」を語りませんでした。しかし「人類の意志」の可能性はまさに全身全霊で表現し続けたのです。それは文学作品だけでなく、絵や書をも貫くモチーフとなりました。混迷の時代を生き抜く可能性としての「人類の意志」を皆さんと感じ直してみたいと考えています。——若松英輔
[時間] 午後7時～8時30分 [講師] 若松英輔氏(批評家・随筆家)
[定員] 90名 *応募多数抽選 [参加費] 無料 [申込み] 5月15日[金]午後5時まで*別記方法で

6.5(金) 展示解説
[会場] 武者小路実篤記念館
[時間] 午後1時30分～*45分間程度 [解説] 伊藤陽子(実篤記念館 首席学芸員)
[参加費] 入場料のみ [申込み] 不要。当日、直接会場へ。

[申込み方法] 実篤記念館ホームページから、スケジュール→講座・講演と進み、先頭にあるWEBフォームに必要事項を入力して送信。または、電話で申込み。



6.6(土)、6.15(日) 「どなたもウェルカムタイム」
[会場] 調布市文化会館たづくり1階 展示室
子どもも大人も、障害がある方も、付き添いの方も、どなたも大歓迎。文化ボランティア「ちょうふアートサポーターズ」がお待ちしております。
[時間] 午前10時～12時 [参加費] 無料 [申込み] 不要。当日、直接会場へ。

6.14(日)、7.4(土) 学芸員によるギャラリートーク
[会場] 調布市文化会館たづくり1階 展示室
[時間] 午後2時～3時 [解説] 伊藤陽子(実篤記念館 首席学芸員)
[定員] 各日20名程度 [参加費] 無料
[申込み] 不要。開始10分前に展示室にお集まりください。

6.20(土) 淡彩画ワークショップ 実篤のように扇面色紙に絵をかこう
[会場] 調布市文化会館たづくり11階 第2創作室 / 保育サービスあり
扇色の色紙に筆と墨で絵をかいてみませんか?講師の指導でちょっとしたコツが分かる本格的な淡彩画に仕上がります。最後に簡単な落款を作って捺し、作品を完成させます。
[時間] 午後2時～3時30分 [講師] 菱沼陽土女士(絵画講師)
[対象] 小学生以上ならどなたでもOK *小学校3年生以下は保護者同伴
[定員] 16名 *応募多数抽選 [参加費] 1,100円(材料費) [申込み] 6月6日[土]午後5時まで*別記方法で

移動展会期中開催!! 展示室内ワークショップ「実篤の絵をまねっこ!絵と言葉を楽しもう」
[会場] 調布市文化会館たづくり1階 展示室
野菜や花など身近なものを絵に描いた武者小路実篤。ハガキ大の紙に印刷された絵をなぞって、実篤の描き方を体験しましょう。どなたでも気軽に参加できます。

調布市武者小路実篤記念館
アクセス・お問合せ

〒182-0003 東京都調布市若葉町1-8-30
Tel 03-3326-0648
Web https://www.mushakoji.org
・京王線つじヶ丘駅または仙川駅下車 徒歩10分
・小田急線成城学園前駅より「調布駅」または「つつじヶ丘駅南口」行きバス稲荷前下車 徒歩5分

